



環境負荷低減の取り組み

ATMの省エネ対策と再資源化

第3世代ATMでは、第2世代ATMに対して消費電力を約48%削減しました。全国約23,000台のATMがすべて第3世代ATMに入れ替わったことにより、年間で約15,000トン[※]のCO₂排出量削減になります。最新技術を積極的に導入し、お取引がないときは常に省エネモードにしたことや、ディスプレイのバックライトをLEDにしたことで、大幅に消費電力を削減できました。また、長寿命部品、リサイクル可能な素材を使用しており、資源の有効利用を推進しています。

また、古くなったATMとUPS（無停電電源装置）バッテリーは、リサイクル業者を通じて再資源化につなげています。

※CO₂排出量を1Wh=0.579gで換算。

ATM廃棄実績

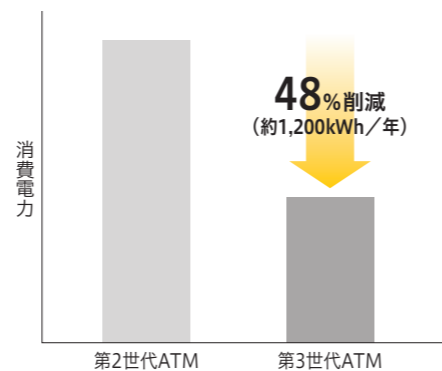
(年度)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
廃棄台数(台)	724	3,538	3,559	3,812	2,597	1,423	15,653
廃棄量(t)	203	997	1,002	1,071	727	402	4,403

UPSバッテリー廃棄実績

(年度)	2015	2016
廃棄個数(個)	2,597	1,434

※廃棄したATMとUPSバッテリーはほぼ100%リサイクルされています。(UPSバッテリーは2015年度から実施。)

ATM消費電力の比較

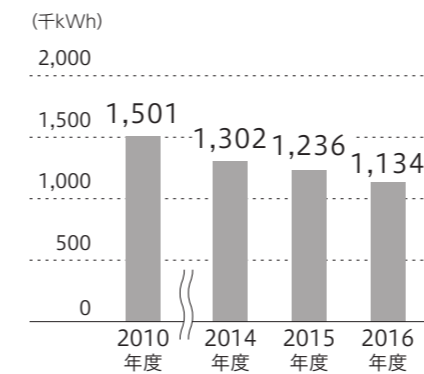


オフィスでの環境配慮

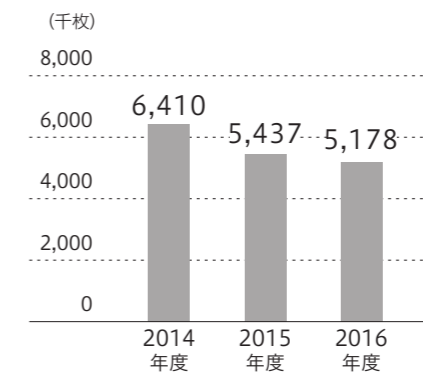
「ディスクロージャー誌2017」（本冊子）の製造・流通・廃棄に要するCO₂排出量10,289kgは、東日本大震災復興支援型国内クレジットを用いてオフセットしています。



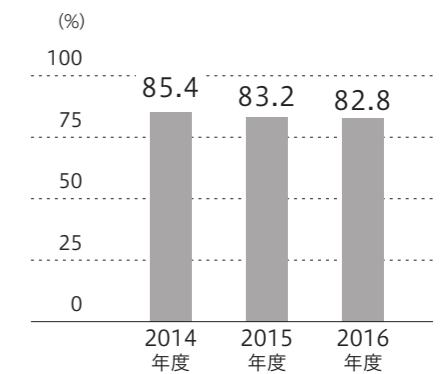
環境指標/電気使用量^{※1} (オフィス、有人店舗、直営ATMコーナー)



環境指標/OA用紙購入量



環境指標/事務用品のグリーン購入比率^{※2}



※1 セブン銀行は、政府の要請等を参考として、2010年度を基準年としています。

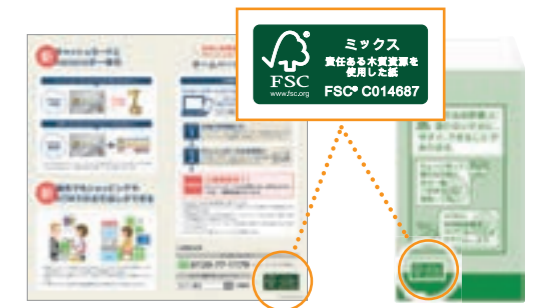
全国に23,000台以上設置しているATMについてはATM設置施設の電気を使用しているため、グラフに含んでいません。

※2 グリーン購入を正確に把握し対比するために、2015年度より過去に遡って、事務用品の購入に対するグリーン購入比率を算出、掲載しています。

FSC認証紙の活用

ATMに備付けている現金封筒や各種リーフレット、セブン - イレブンなどで配布している読み聞かせ絵本「森の戦士ボノロン」に、FSC認証紙を使用しています。

FSC森林認証とは、適切に管理された森林や、その森林から切り出された木材の適切な加工・流通を証明する国際的な認証制度です。今後も環境に配慮した認証紙の活用を拡大していきます。



従業員による環境保全活動

地球環境保護や地域社会に貢献することを目的に、従業員は当社独自の環境活動をはじめ、グループ全体による各種ボランティア活動に積極的に参加しています。

2016年9月、第9回「ボノロンの森環境活動」を行いました。参加者は、ネイチャーガイドと森林を散策した後、近くの県有林で不法投棄された資材やゴミを回収しました。



地域・社会の発展のために

「森の戦士ボノロン」への協賛

2005年6月より、読み聞かせ絵本「森の戦士ボノロン」に協賛し、偶数月に毎月約100万部をグループ会社のセブン・イレブンやデニーズ、ファミリー、ヨークベニマル、セブン銀行有人店舗などで配布しています。2017年4月からはアカチャンホンポでも配布を開始しました。

この絵本は、読み聞かせを通じて生まれる子どもの「なぜ?」「どうして?」が親子のコミュニケーションにつながることを期待して発行されています。

「森の戦士ボノロン」とは

ボノロンは、巨木の森タスマンに住む森の戦士。オレンジ色でとても大きなボノロンは、正義感が強く、とても頼りになる9才の男の子です。

悲しんでいる人が巨木に涙を落とすと、根をつたってタスマンの森に届きます。巨木から涙のわけを聞いたボノロンは、地上にあらわれます。そして魔法は使わずに、困っている人の背中をそっと押してあげる…心優しいボノロンは寄り添うように、願いをかなえてくれるのです。

(ボノロン公式サイト：<https://www.goo.ne.jp/green/bonolon/ehon/about.html>より)



©NSP2005、
©ボノロンといっしょ。2007

社会貢献型キャッシュカードの発行

2011年より社会貢献型キャッシュカードを発行しています。これは、「森の戦士ボノロン」がデザインされたキャッシュカードを1枚発行するごとに100円をセブン銀行が拠出し、全国の児童館に絵本を寄贈するものです。2016年度は49,120人のお客さまにボノロンキャッシュカードを選んでいただき、絵本を制作し、全国2,812カ所の児童館に絵本を寄贈しました。



被災者・被災地の支援に向けた活動

地震や台風などで被災された方々を支援する募金活動を実施しています。セブン銀行WEBサイト内に特設ページを設け、お客さまや従業員からの募金を受付けています。

また、グループ全体の取り組みとして、被災者の生活を支え、被災地の復興を支援する活動を継続して行っています。

災害名	募金額	お届け先
熊本地震	2,735,751円	熊本県、大分県
台風10号による大雨被害	103,110円	日本赤十字社(岩手県支部、北海道支部)
糸魚川大規模火災	111,371円	新潟県

セブン銀行クリック募金

セブン銀行WEBサイトではお客さまのクリック回数に応じた金額(1クリック=1円)をセブン銀行が寄付する「クリック募金」を実施しました。

募金名称	時期	募金額 ^{※1}	お届け先
環境NPO団体応援クリック募金	2016年 6月	287,216円	環境NPO団体(ホールアース研究所、富士山クラブ)
音声ガイダンスサービス 知って!広めて!キャンペーン	2016年 12月	669,964円	ラジオチャリティ・ミュージックソン (ニッポン放送などラジオ11局主催)
児童館支援クリック募金	2017年 3月	430,116円	一般財団法人 児童健全育成推進財団 ^{※2}

※1 募金額は、クリック募金に加えセブン銀行口座をお持ちのお客さまや従業員からの募金等の合計額です。「音声ガイダンスサービス知って!広めて!キャンペーン」については、音声ガイダンスのご利用回数に応じた寄付金拠出も含まれています。

※2 お届けした募金は熊本地震で被害を受けた熊本県益城町児童館の屋外遊具購入資金として使われました。

「子どもの読書活動推進フォーラム」への出展

2016年4月、文部科学省、国立青少年教育振興機構主催の「子どもの読書活動推進フォーラム」にて、セブン銀行の「森の戦士ボノロン」の取り組みを紹介しました。

「子どもの読書活動推進フォーラム」は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」において「子ども読書の日」として定めた4月23日に開催され、読書活動優秀実践校の表彰や事例発表が行われます。当日は来場された学校や図書館の関係者の方々に「森の戦士ボノロン」のバックナンバーの配布や大型絵本を使った読み聞かせ活動をご案内しました。



セブン銀行のブース



より緊密な対話の促進

多文化共生を応援

海外送金サービスをご利用のお客さま向けに、9言語に対応した「海外送金アプリ」を提供しています。2016年度は、このアプリを通じた地域情報の発信を主な目的として、外国人が多く暮らす地方公共団体と多文化共生の推進に関する協定を締結しました。これに伴い、当該地域にお住いの方向けに、暮らしの情報や災害情報などを多言語で配信しています。

■セブン銀行が多文化共生推進に関する協定を締結した地方公共団体(2017年7月1日現在)

2016年9月	愛知県名古屋市
2017年2月	岐阜県可児市
3月	愛知県
4月	神奈川県
5月	神奈川県川崎市

地域のボランティアに参加

東京都千代田区に事業所を置く企業とその従業員が協働し、地域貢献活動に取り組む「ちよだ企業ボランティア連絡会」に参加しています。良き企業市民として、地域社会とのコミュニケーション強化を図るものです。

2016年度は、特別養護老人ホームでのボランティアや、区役所で行われた福祉まつりなどに参加しました。



認知症サポーターの育成

従業員の認知症に対する理解を深め、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせるまち作りを支援するため「認知症サポーター[※]」の育成に取り組んでいます。現在78名が認知症サポーターの資格を取得し、地域社会の安心・安全に貢献しています。

※認知症について正しく理解し、認知症の方やご家族を温かく見守り支援する応援者。

私たちは、株主・投資家の皆さまに対して、財務状況や経営戦略に関する正確な情報をお伝えし、事業活動への理解を深めていただくことを目指しています。株式市場の評価を経営に活かし、さらに緊密なIRコミュニケーションを形成することで、企業価値の向上につなげていきます。

IRポリシーについては、右記のWEBサイトに掲載しています。 <http://www.sevenbank.co.jp/ir/policy/>

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを深めるために

セブン銀行は、株主・投資家の皆さまにより理解を深めていただくため、法定開示の範囲にとどまらない積極的な経営情報公開に努めています。

対話の基盤となるツール一覧

- 機関投資家向けアナリスト説明会の動画および音声配信(日本語・英語)
- ディスクロージャー誌の発行
- 英語版アニュアルレポートの発行
- 「株主の皆さまへ」の発行
- 個人投資家向けWEBページの掲載



決算説明会の動画配信

歌舞伎町ATMコーナーを一新! 新宿区・新宿観光振興協会とコラボレーション

東京都新宿区および新宿観光振興協会と連携し、「新宿の観光振興」をテーマに、新宿歌舞伎町にあるセブン銀行ATMコーナーを一新しました。新宿の多様性をイメージして、ATM端末をカラフルにラッピングしたほか、床面には新宿の「春」「夏」「秋」「祭」のイメージ、天井には新宿区の伝統産業である染色の模様をデザイン。特に海外からのお客さまにより便利にご利用いただけるよう、観光情報誌の設置や新宿の魅力を紹介するDVDの上映、無料Wi-Fiサービスの提供なども行っています。



歌舞伎町ATMコーナー

■IRカレンダー(2016年度の主な実績) ※アナリスト、機関投資家向け

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算関連		●本決算発表 ●決算説明会 [※] ●定時株主総会			●第1四半期決算発表 ●電話会議 [※]			●中間決算発表 ●決算説明会 [※]				●第3四半期決算発表 ●電話会議 [※]
ツール コミュニケーション				●ディスクロージャー誌発行 ●Annual Report(英語)発行				●「株主の皆さまへ」発行	●中間ディスクロージャー誌発行			
海外でのIR活動		●アジア	●北米	●アジア				●欧州				



働きがいのある職場づくり

従業員自らの成長を促す環境づくり

いきいきと働き、自己成長と自己実現を果たせる職場づくりに向けて、セブン銀行は一人ひとりの従業員に主体的・自立的な行動を求め、自らの意思で学び取っていくことを促しています。こうした考え方のもと、従業員は仕事を成長機会としてとらえ、会社はその成長を支援しながら、組織全体で学び、育てあう風土を目指しています。

従業員の学びを積極的に支援

従業員個々の成長ステージに合わせた能力開発プログラムを整備し、それぞれの階層に必要な知識・スキルを習得するための各種研修を実施しています。また、社内選抜を実施したうえで、希望者を社会人向けビジネススクールへ派遣しています。さらに外国語でコミュニケーションがとれる人材の育成にも力を入れており、通信教育に対する補助や、外部研修を活用した語学習得支援を行っています。

主に実施している研修等

- 新入社員研修
- 中途入社者研修
- MBA派遣(2016年度3名)
- 海外研修派遣(2016年度2名)
- コミュニケーション研修
- 各種通信教育への補助(2016年度115名)

コミュニケーション研修を通して、「主体性」を学びました

この研修を通して、さまざまな部署の業務についての理解が深まるとともに、「主体的な姿勢」の大切さについて学びました。また、中途入社者として不安な面もありましたが、深い絆で結ばれた仲間を部署を超えて作ることができ、自分の仕事がさらに円滑に進むようになりました。

営業推進部
五十嵐麻美



挑戦する姿勢の尊重

従業員が自ら挑戦する姿勢を尊重し、挑戦をサポートするためにさまざまな機会を設けています。

2016年度には、従業員の事業創造への意欲を高めるべく、外部の起業家を招いたセミナーや新規事業を発想するワークショップなどを実施。その後、セブン銀行やグループ金融における未来の新しい事業・サービスを社内で募る「社内事業創造チャレンジ」を開催し、合計26件の提案がありました。この事業案から、経営陣へのプレゼンテーションを経て2案を採択し、事業化に向けた検討を進めています。



ワークショップの様子

安心して働くことができる環境づくり

働きがいを持ち、仕事を自らの成長機会とする従業員を支えるのは、安心して働ける環境の整備です。すべての従業員が持つ能力と意欲を最大限に発揮できるように、ワークライフバランスの推進に注力しています。

さまざまな生活スタイルに応じた制度を整えることで、人材の多様性を活かしたより豊かな職場環境を実現していきます。

「くるみんマーク」[※]を取得

2015年6月には「子育てサポート企業」として2度目の厚生労働大臣の認定を受け、「くるみんマーク」を取得しました。
※「くるみんマーク」とは、「次世代育成支援対策推進法」に基づいた育児支援の行動計画に取り組み、実績が認められた企業が使用できるマークです。



在宅勤務制度

妊娠や子育て、家族の介護、自身の負傷などの理由で通勤が難しい場合でも勤務を継続できるよう、在宅勤務制度を設けています。

無期雇用への転換制度

2016年度より、契約社員として一定期間勤務後、本人が希望すれば無期雇用(アソシエイト社員)に転換する制度を設けています。

社員登用制度

2016年度より、契約社員・アソシエイト社員のうち、一定の条件を満たした場合、社員へ登用する制度を設けています。

障がい者雇用

ノーマライゼーションの観点から障がいのある方が能力や適性を活かして働ける環境を整備しています。

■従業員・雇用に関するデータ

(2017年3月末現在)

従業員数(男/女) ^{※1}	472人(302人/170人)
パート社員数(男/女) ^{※2}	10人(3人/7人)
派遣スタッフ社員数(男/女)	21人(8人/13人)
従業員平均勤続年数	6.8年
女性管理職比率 ^{※3}	12.0%
障がい者雇用率	2.2%
有給休暇取得率	83.4%

※1 従業員は、役員、執行役員、当社からの社外への出向者、パート社員、派遣スタッフ社員を除き、社外から当社への出向者を含む。

※2 パート社員数：1日8時間換算による月平均人員

※3 女性管理職比率は、当社から7&iグループへの出向者および7&iグループ他社からの出向者を除き、7&iグループから当社への出向者を含む。

(2016年度中)

社員への登用人数(男/女)	2人(0人/2人)
出産休暇取得者数	8人
育児休暇取得者数(男/女) ^{※4}	13人(1人/12人)
介護休暇取得者数(男/女)	0人
妊娠・育児・介護を事由とした退職者の再雇用(男/女)	1人(0人/1人)
育児・介護を事由とした短時間勤務制度利用者数(男/女)	21人(3人/18人)
在宅勤務制度利用者数(男/女)	6人(2人/4人)
ボランティア休暇取得件数	11件
労働災害度数率 ^{※5}	0
労働災害強度率 ^{※6}	0
ヘルプライン受付数	1件
1月あたりの従業員の平均残業時間	21.0時間

※4 育児休暇者は、16年度中に育児休暇を取得した社員

※5 労働災害度数率 = (労働災害発件数/のべ労働時間) × 1,000,000

※6 労働災害強度率 = (労働損失日数/のべ労働時間) × 1,000